

独立行政法人水資源機構  
朝倉総合事業所  
寺内ダム管理所平成22年7月13日・14日 梅雨前線に伴う出水で  
寺内ダムは洪水調節を行いました

## 寺内ダムの洪水調節によりダム下流の河川水位を低減

筑後川水系佐田川さだの寺内ダムあさくら(福岡県朝倉市)の上流域では、梅雨前線の活発な活動により、7月10日16時から7月14日17時までの総雨量が466mm(ダム流域平均雨量)を記録し、特に14日8時から9時までの時間雨量は39.7mmを観測しました。

この降雨により、寺内ダムでは7月13日から14日にかけて延べ4回の洪水調節を行いました。

7月14日9時20分には、寺内ダムの流入量が昭和53年の管理開始以降で最大の毎秒約229立方メートル(過去最大流入量は平成17年7月10日に観測した毎秒約181立方メートル。)を観測しました。この最大流入量のときには、ダムで毎秒119立方メートルを調節し、ダムからの放流量を毎秒約110立方メートルとする洪水調節を行いました。

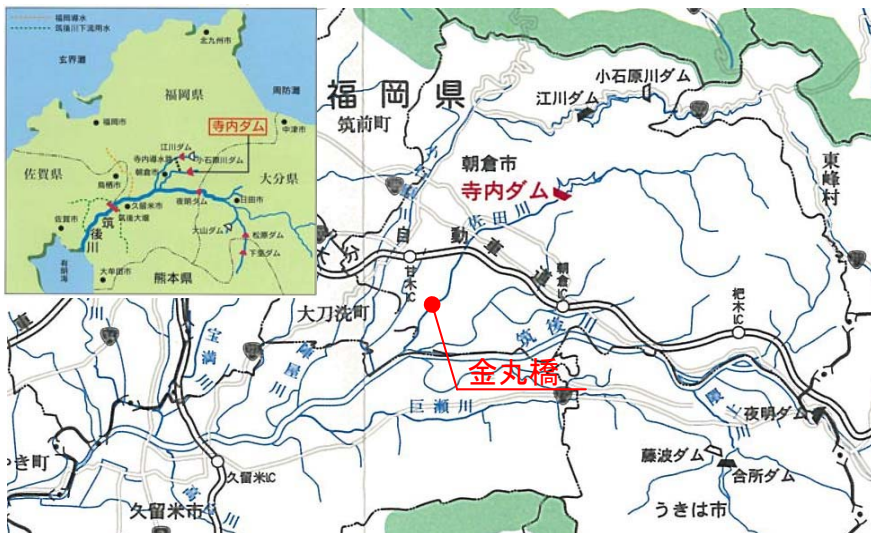
今回の洪水調節により、寺内ダムから約8km下流の金丸橋地点かなまるばしにおいて約0.65mの水位低減効果があったものと推定されます。

※洪水調節とは、降雨によりダムに流れ込む水の一部をダムに一時的に貯め込んで、ダムから下流へ流す量を減らし、下流の川の水位を低減させることです。

《配付先》 西日本新聞朝倉支局  
読売新聞筑紫支局  
毎日新聞福岡南支局  
朝日新聞太宰府支局

《問い合わせ先》 独立行政法人水資源機構 朝倉総合事業所  
寺内ダム管理所 所長代理 永田 勝志 (ながた かつし)  
電話番号 (0946)22-6713

# 平成22年7月13日・14日 梅雨前線に伴う出水で 寺内ダムは洪水調節を行いました

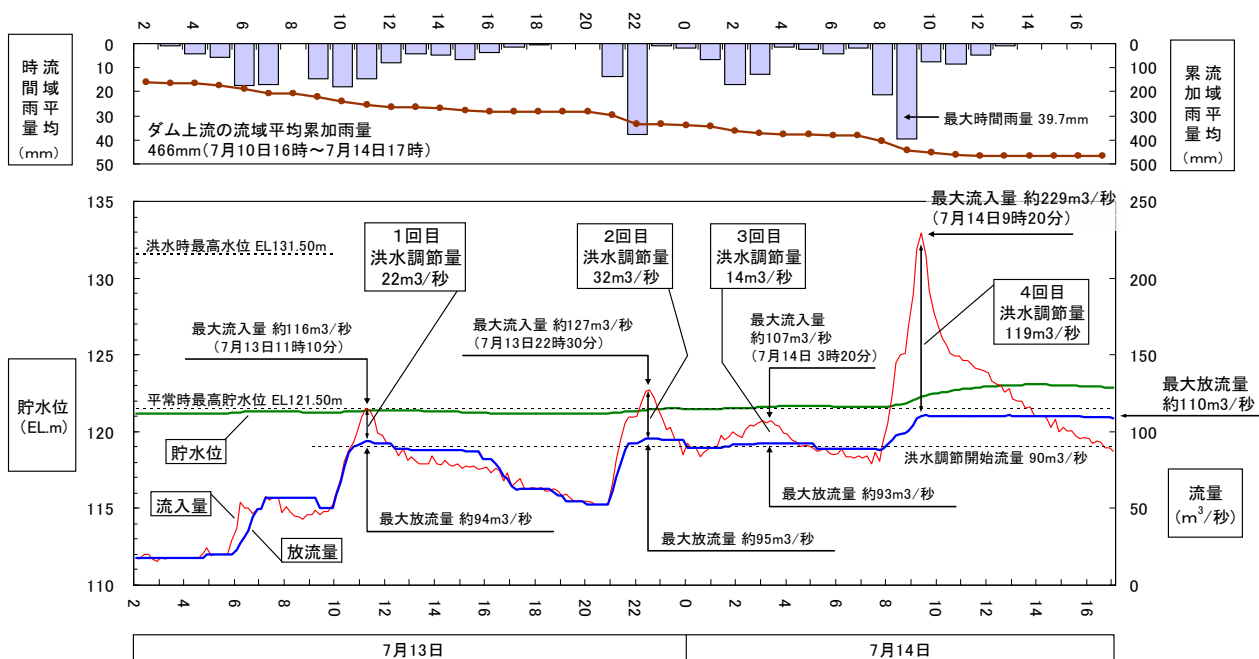


**寺内ダム諸元**  
 平常時最高貯水位(常時満水位) : EL.121.50m  
 洪水時最高水位(サーチャージ水位) : EL.131.50m  
 総貯水量 : 18,000,000m<sup>3</sup>  
 有効貯水量 : 16,000,000m<sup>3</sup>  
 洪水調節容量 : 7,000,000m<sup>3</sup>  
 洪水調節開始流量 : 90m<sup>3</sup>/秒  
 計画最大流入量 : 300m<sup>3</sup>/秒  
 計画最大放流量 : 120m<sup>3</sup>/秒



洪水調節の操作状況

寺内ダム洪水調節状況(7月13~14日)





ダム下流の<sup>かなまるばし</sup>金丸橋地点(佐田川)